

県内での影響予測

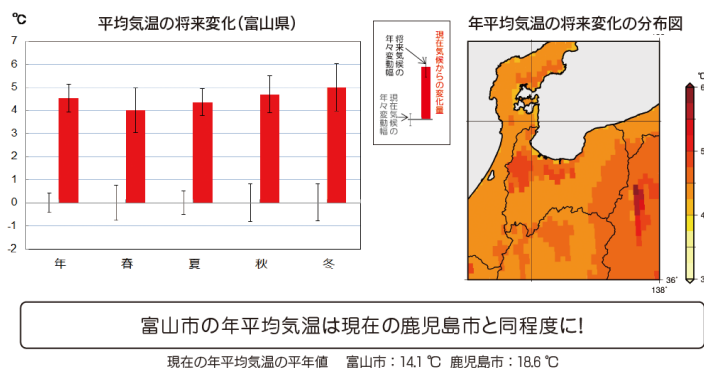
温室効果ガスの排出が高いレベルで続く場合（RCP8.5シナリオ）
県内の年平均気温は21世紀末までに約5℃上昇し、次のような影響
があると予測されています。

21世紀末の富山県はどうなるのか？

富山県の21世紀末の気候(富山地方気象台)より

① 年平均気温が100年で約5℃上昇

富山市では、年平均気温が約5℃上昇し、21世紀末には現在の鹿児島市と同程度になると予測されています。



② 猛暑日が100年で約40日増加

富山市では、日最高気温が35℃以上の猛暑日が約40日増加するほか、真夏日・夏日・熱帯夜が約60日増加すると予測されています。



③ 滝のように降る雨が増加

県内では、1時間降水量が50mm以上の非常に激しい雨の降る回数が約4倍になると予測されています。これにより、土砂災害や洪水のリスクが増大します。



④ 降水の無い日が増加

県内では、日降水量1mm未満の無降水日が約14日増加すると予測されています。これにより、水不足などのリスクが増大します。

